

6 年	国語	「私と本」		8 時間
単元 の 目 標	◎本の内容や魅力を読み取り、読書が自分の考えを広げ、役立つことに気付くことができる。[知識及び技能]（3）オ ○自分の考えや感じたことを、本の内容と結び付けて表現することができる。[思考力、判断力、表現力等]（1）ウ ○友達の発表を聞いて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。[思考力、判断力、表現力等] C（1）カ ○自分の関心に合った本を選び、自分らしい方法で主体的に学ぼうとしている。[学びに向かう力、人間性等]			【方向目標】 学習過程や指導の方向性。質的な評価、自己評価。
単元末における具体的な児童の姿	A 読んだ本の魅力や構成を意識して分かりやすく話し、聞き手の関心を引く工夫をしている。友達の発表を聞いて、自分の考えが広まったことを実感し、他の友達にも自分なりの視点で本を薦めることができる。 B 本を読んで理解したことを、ビブリオバトルで相手に伝えようとしている。読書を通して自分の考えを広げることができる。と気づき、友達の発表を聞き、本の内容について自分なりの感想や考えをもつことができる。 C 本の内容や自分の考えを、相手に伝えようと努力している。友達の発表を聞き、読書への関心が少し高まり、読んでみたいという気持ちを持ち始めている。	実際	A 読み手により本の魅力が伝わるように、本を見せながら話したり、読み手を惹き付けるような問いかけを検討したりするなど、グループの友達と相談しながら活動を進めていた。単元終了後には、読書量が増えた。 B 繰り返し練習に取り組み、特に時間を意識して発表練習に取り組む姿が見られた。本の内容や説明から、自分なりの感想や考えを持っていた。単元終了後には、紹介された本を読む姿が見られた。 C 自分の考えを伝えようとしているが、グループでの話し合いはあまり見られなかった。教師の助言により、発表内容を精査する姿が見られた。	
個人間差異		手だて		効果
① 応用力の違い		①・「感じたこと」「学んだこと」等の視点を明確にする。 ・ワークシートで、「この本は〇〇な人におすすめ」、「読んで〇〇を考えた」等、自分の考えを話す発表の型を提示する。		○ ○
② 学習スタイルの違い		②・内容を音読したり、短い動画を発表したり、寸劇をしたりと発表方法は児童が選べるようにする。 ・発表が苦手な児童には話のまとまりを書いたメモを児童自身で用意してもよいことを伝える。		◎ ○
③ 興味・関心の違い		③・個別最適な学びの視点から、児童が自分の関心や得意に応じて活動できるよう、紹介する本はジャンル問わず自由、紹介する人数や形式も柔軟に設定し、一人の紹介でも、数冊の紹介でも可能とする。また、おすすめの本だけでなく、「おすすめの著者」をテーマにしてもよいことにする。		◎

	・チームでのビブリオバトルの前に、個人でのビブリオバトルを実施し、自信を付けたり、見通しをもって活動できるようにする。 ・児童の読書の様子を見取り、読書に抵抗がある児童には短時間で読める本や漫画の伝記などを薦め、読み切れたという成功体験を読書への自信に繋げていく。	◎ ◎
成果	・グループで取り組むことで、友達の意見を取り入れながら、活発に原稿を考えたり、発表を進めたりすることができた。 ・自分のおすすめ本の魅力を発表するという目標をもって、計画的に読書に取り組む、見通しをもって活動することができた。 ・読書に抵抗感があった児童も、活動を進めていく内に、読書への発表に児童の読書量が増えた。	課題 ・1人で発表する児童に対して、他者と情報を共有したり、互いの発表を見合ったりできる環境づくりへの配慮が必要だった。 ・児童が本を読んだり、原稿を考えたりするまでに時間を要するため、活動の間隔を空けて設定する必要がある。その結果、国語科の他単元との兼ね合いや、指導計画上の負担が生じる。 ・児童の話し方に個人差があり、語彙を豊かにし、相手に分かりやすく伝える力を高める必要がある。

🔥 発表用チェックリスト 🔥

- ①話の構成（伝わりやすい形になっているか）
- ☐ 話す順番がはっきりしている
- ☐ 一番伝えたいポイントがしぼれている
- ☐ 時間内におさまるよう調整できている
- ②内容（本のみ力が深く伝わるか）
- ☐ 心に残った場面や理由を具体的に言えている
- ☐ 自分の気持ち・考えを「自分の言葉」で話している
- ☐ ネタバレしすぎず、読んでみたいと思わせる工夫ができている
- ③伝え方（話し方の質）
- ☐ 声の大きさを調整できている
- ☐ 間を取って、聞き取りやすい速さで話している
- ☐ 聞き手に視線を向けられている
- ④聞き手を意識した工夫
- ☐ 最初の一言・最後の一言で聞き手の興味をひけている
- ☐ 本の世界が頭に浮かぶように具体的に説明している。

